

# 事前評価書

年度	8
整理番号	

事業名・路線名等		(単)道路改良事業 一般県道 百枝大野線	事業主体	大分県
所在地		豊後大野市大野町宮迫～田中(田中工区)		
事業概要	事業の目的	幅員狭小かつ線形不良の解消により、通行車両の走行性、安全性の向上を図る		
	事業内容	【計画延長・幅員】延長 L=360m、幅員 W=5.5(7.0)m 【道路区分】第3種第4級 【設計速度】V=40km/h 【計画交通量】283台/日(R22) 【現況幅員・交通量】W=3.1m 交通量 303台/日(R3)		
	事業費	200百万円		
事業の実施計画	完成予定年	着手から7年(令和14年度)		
	事業段階毎の実施計画	1年目 地形測量、道路詳細設計 2年目 用地測量 3年目 用地買収、道路工事 4年目 道路工事 5年目 道路工事 6年目 道路工事 7年目 道路工事 完成		
	事業の必要性	・幅員狭小かつ線形不良(最小幅員3.1m、最小曲線半径45m)といった構造上の問題があり、通行車両の走行性・安全性が低く、離合も困難な状況 ・沿線住民が市指定緊急避難所(大野支所・大野小学校・大野中学校・大野公民館)へ安全・安心かつ円滑に避難することが困難 ・適切な道路規格の確保による通行車両の走行性、安全性の向上 ・市指定緊急避難所(大野小学校・大野中学校・大野支所・大野公民館)への避難路確保 ・小規模集落(田代区)と大野町中心部(学校、大野IC、道の駅おおの)へのアクセス機能の改善		
事業手法・工法の妥当性	費用便益分析	・通行困難区間の解消(一次改築)のため、防災面・交通安全の観点から評価 【参考B/C=0.1】		
	工法の妥当性	・道路構造については、道路法・道路構造令等に適合した工法を採用 ・将来計画区間を含めて複数案の比較検討を行い、最も経済的かつ指定避難所・大野小学校へのアクセスが優れるルートを選定		
	コスト縮減	・アスファルト・砕石は再生材を利用 ・建設発生土を盛土材に利用		
	環境等への配慮	・大規模なコンクリート構造物が不要であり、自然環境との調和に優れる ・法面部は植生を行い周辺景観との調和を図る		
事業実施環境	事業の実効性	・豊後大野市から要望書が提出されており、市の協力体制は整っている ・県道百枝大野線改良工事促進期成会から要望書提出(令和7年8月豊後大野土木事務所長あて) ・地元期成会、地元自治会も整備を望んでおり地元の協力体制は整っている		
	事業の成立性	・道路法第15条に基づき事業を実施 ・大分県長期総合計画「安心・元気・未来創造ビジョン2024」、「おおいた土木未来プラン2024」、「おおいたの道構想2024」に基づき事業を実施		
	事業の特殊性	-		
対応方針		・以上のとおり事業の必要性が認められることから、本事業を実施したい		